

# 窓

# 雄飛

一般社団法人 雄飛会  
(福岡工業大学同窓会)会報

vol.  
**28**

発行

一般社団法人 雄飛会(福岡工業大学同窓会)／会報編集委員会  
〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1

TEL/FAX ..... 092-608-5982

E-mail ..... dousoukai@fit.ac.jp

URL ..... <http://www.fit.ac.jp/dousoukai/>

## 建学の綱領

一、学後の品性を陶冶し

真の国民としての

教養を啓培する

一、宇宙の真理を探求し

これを実生活に応用して

社会に貢献する

一、人類至高の精神、自由平和信愛を

基調として世界に雄飛する

人材を育成する

*For all the students*

～すべての学生生徒のために～

FIT 福岡工業大学

すべての学生のために、大人が本気を出す大学。

だから、私たちが選んだ。そして、私たちが学んだ。

学びたいことに

・学費が安いから

・設備が整っているから

・先生が熱心だから

・就職先が豊富だから

・学歴が響くから

FIT福岡工業大学

### 学校法人 福岡工業大学 理事長挨拶

理事長 大谷 忠彦



皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は学  
生への経済的支援などに格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
私は、令和3年1月の理事会において4月からの次期理事長に選任された後、  
2月23日、鶴木洋二前理事長の思いもかけない急逝に伴い、3月1日から理事長  
の職を拝命しております大谷忠彦と申します。同窓会会報の発刊に際し、一言ご  
挨拶を申し上げます。

先ず初めに、鶴木洋二前理事長には、在任の23年余の間、8次にわたる中期経営  
計画を軸に、変化の激しい時代において、私学経営者として数々の業績を残され、  
本学のみならず教育界の発展に多大な貢献をなされたことに敬意を表します。  
これまで築き上げてきた経営理念「For all the students」、行  
動規範「Just Do it!」を私もしっかりと受け継ぎ、今後とも学園の永続  
的発展のため、誠心誠意、努力を重ねてまいります。

18歳人口減少の急速な進行とコロナ禍の社会的影響が長期化する中、私立大学  
はこれからも逆風に耐えていかねばなりません。昨年、AAAを頂いた格付け会  
社から、本学の最大の強みは組織力である、との評価いただきました。教職協  
働で組織一丸となつて積み上げてきた中期経営計画(マスター・プラン、アクシ  
ョン・プログラム)の推進により、混沌とした時代を強くしなやかに生き抜くた  
めの「柔軟性」と「強靭さ」を備えた組織力を有しているとの内容でした。この  
組織風土の醸成を怠ることなく、未来に向かって学園経営の進化にいつそつ磨き  
をかけていく所存であります。

改めてこれまでのご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、同窓会の皆様  
方におかれましては、今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申  
し上げます。

### 福岡工業大学 福岡工業大学短期大学部 学長挨拶

学長 下村 輝夫



会員の皆様には、誠に清祥のこととお慶び申し上げます。常日頃、  
学生への経済的支援などご尽力賜り感謝申し上げます。

依然として続く新型コロナウイルス感染症影響下ではありますが、本学は徹底した感  
染防止策を講じて対面授業を主流としており、学生アンケートでも好評です。  
15年連続の入試志願者増の達成は出来ませんでした。それでも昨年度はこれ  
まで2番目となる11,345名の方々から志願をいただきました。また、  
実就職率も6年連続で95%を超えています。これらは偏に会員の皆様のご支援  
の賜物と感謝申し上げます。

ところで、私学事業団の調査に拠りますと、令和3年度の私立大学への志願  
者、受験者は前年度と比較し減少したものの、合格者、入学定員については前  
年度と比較し、いずれも増加して合格者数は前年度比6.6%の増加だったとの  
ことです。この結果、定員未充足大学は46.4%に、未充足短期大学は83.  
6%に達し、前年度より増加しています。要するに、少子化が顕著で、大学及  
び短期大学の全入時代に突入したことが一段と明白となり、今後さらなる淘汰  
が進むことが予想されます。

令和3年3月に新しい理事長のもとでの出発となりましたが、前理事長の時  
代に優るとも劣らない学園となるように、教職協働で頑張っているところで  
す。私学の神髄は建学の理念(綱領)の実践と自主独立にあります。このため  
には学園と同窓会との強い絆が求められますので、これからも何卒よろしくご  
支援を賜りますようお願い申し上げます。末尾ながら、会員皆様のご多幸とご  
健勝をお祈り申し上げます。

### 同窓会会長挨拶

会長 小柳 辰生

(昭和45年電子工学科卒)



会員の皆様には、日頃から雄飛会活動にご理解とご  
協力を賜り、心より感謝申し上げます。

会報誌「雄飛」は、発刊から25年目となる今回から  
紙面発行を変えて同窓会ホームページへの掲載のみと  
なりました。デジタル社会が進展する中、雄飛会とし  
てもインターネットを活用した情報発信を強化したい  
と考えています。

新型コロナウイルス禍により、現役で活躍中の皆様、  
リタイアして第二の人生を迎えられた皆様、夫々に大  
変な自粛生活を強いられたことと致します。特に高齢  
の方には生涯現役を目指した活動が制限されたのでは  
ないかと拝察します。

#### 同窓会本部の現況について

- ①令和3年6月の定時社員総会は新型コロナウイルス感染防止  
対策で書面決議となり、令和2年度活動報告・決算  
と監査報告、次年度の活動計画(案)・収支予算(案)  
等、すべての議案が決議されました。
- ②楽しみにしていました「交流会」はコロナ禍により  
2年続けて中止となりましたが、令和4年6月に広  
島市にて開催を予定しています。
- ③FITMUSEUMは館長・学術顧問の秀崎先生  
の指導のもと展示品の動作点検等を推進しながら、  
新型コロナウイルス感染状況を見ながら一般公開を待つてい  
るところです。
- ④雄飛会は平成22年に法人化して10年が経過、当初作  
成された定款や各種規定等について現況との整合性  
を点検し、来年の総会に諮るための見直し作業を

#### 母校の直近の状況について

- ①令和3年3月に、大谷忠彦氏(前常務理事)が理事  
長に就任されました。  
また、常務理事に山下剛氏(前事務局長)が就任さ  
れました。
  - ②私立大学の約4割が入学定員を確保できていない中、  
我が母校は全ての学部で継続して安定的に定員を確  
保しています。さらに、大学の偏差値も年々上昇し  
ています。
  - ③2020年度の大学就職内定率は99.7%で実就  
職率は95.7%、その内71.4%以上が上場  
企業・大手中堅企業へ就職しています。
  - ④母校は、外部の格付会社(R&I、JCR)により、  
学校運営全般、経営・ガバナンス、財政全般の項目  
において、高い評価(R&I:A+、JCR:AA-)  
を得ています。  
上記のように母校は、学外評価も年々上がり素晴ら  
しい発展を遂げています。
- 結びに、雄飛会が「皆様の抛り所」有為な情報交換  
所」として機能するように、会員の皆様のご理解とご  
協力により、支部活動等を積極的に推進したいと考え  
ております。ご協力よろしくお願い致します。

**予告** 福岡工業大学同窓会(一般社団法人雄飛会)  
交流会 開催予定のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響により2年連続して延期になっておりました、  
同窓会交流会(広島県広島市 広島ガーデンパレス)を  
「令和4年6月18日(土)12時～」  
に開催する予定となりました。

※開催が決定しましたら、例年通り4月下旬～5月上旬に「同窓会交流会のご案内」を  
送付いたします。  
なお、開催中止または延期の場合は、同窓会ホームページ上にてご案内いたします。  
郵送等の個別の連絡は行わない予定ですので、予めご了承ください。

# 活躍するOB・OG

母校の創立者 理念と伝統文化を継承し3M3R.M.E.D.R.で企業の創業者 自主、自立し、地球環境を守り社会に貢献する。

「電子医学部」設立準備推進協議会 同代表

岩尾 紘一

(昭和43年電子工学科卒)



前略

在校生(徒)・同窓会・教職員の皆様、お元気でしようか?! コロナ御見舞い申し上げます。同窓会事務局より近況報告の寄稿依頼を賜り敬意と感謝申し上げます。寄稿依頼に誠意を持って苦慮しましたが、母校と小生の今日に至る、経過、経緯に関する報告と今日的近況報告すべきであると自問自答すべしと決意し、ペンを走らせております。従って課題に基づき下記に記述させて頂き

コロナ騒動が世界中に発生して以来、医療崩壊が教育破壊へと推移しては桑原玉市先生(本学創立者の建学の綱領に反すると思慮している弱者で有る事を御容赦下さい)。

草々

①小学校：安岐小学校、枝光小学校、則松小学校、黒崎小学校へと父の転勤で4校を転々とし、友達が出来ず、黒崎小学校での1年間の担任小川文彦先生は、遠賀郡から通勤されており、当時は食糧難でしたが、小川先生にはクラス全生徒へ遠賀米を毎週月曜に配って頂き感謝の気持は一生変わらぬと確信しておりますと同時に、義務教育の「意義」と重要性と人権尊重の理念は桑原玉市先生が常時語っていた事とマッチングしてました。②折尾中学校：中学時代の3年間は「夢と希望」で楽しい毎日でした。国民ラジオが全家庭に普及してありましたが、受信感度が悪く、ホワイトノイズの強弱は耳ざわりでした。その原因を探究する目的で1年の夏休みに理科自由出題に硬石ラジオを作り「レシバーラジオ」を製作しま

した。それが文部大臣賞に選ばれ母が喜んでいた笑顔は記憶に鮮明です。クラブ活動は野球部、放送部、バレー部、陸上部、理科部と5足の草鞋で身に着かず、高等学校への進学は東筑をトライする予定で駄目の時は集団就職と決めておりましたところ、進路指導と担任の先生が、福岡電波高等学校へ推薦され合格しました。入学式は桑原校長の祝辞に始まり、「3つの誓い」と「建学の綱領」には感動し人生の糧と成り今日に至り、桑原玉市先生への感謝と敬意は永遠です。折尾から西戸崎への通学は苦難で学生寮(紫雲寮)での生活はモラルとルール並びに「勉学は充実してアツ」という間の3年間でした。特待生で有った事から校長推薦で東洋精機研究所(現・株式会社東洋精機製作所)に入社しました。社訓が「斗魂で社員一丸と成って先進技術の探究で寝る間をおしんでの研究生活が楽しい毎日が続いておりました。小生の研究課題は「60兆の細胞免疫能力と電子工学の相関性」で現在に至っています。

③後進国から発展途上国へと推移する中で大卒者が中心の研究所で、夜間大学を志しましたが、入社2年目に電子工業大学を受験し、合格と同時に辞表を提出したところ国内留学生としての学生生活がスタートし仕事と学生の両立は大変でした。大学は国立大学と同等の理念で運営され安全保障問題は全国的に社会問題として大きく揺れ動きましたが母校は学生の本分を教職員、学生生徒、父母会(当時はPTA)が一丸と成り日本の未来への希望と勇気で安心安全、更に充実した生活でした。クラブ活動は同好会と研究会で学生自治会が中心に、建学の精神(ライトフル)の旗の下に一致団結し地域密着型(アカデミック)の学園で勇気と誇りを持って無事卒業でき感謝しております。クラブ活動は社会科学と自然科学に分類され、学生が主体に大学の「自治」を守る事を「桑原魂」の礎として錬磨し合った有意義な中で、小生は自治活動の充実を目的に新聞同好会を創設し、ガリ版印刷をトッパ印刷にする時、地域の商工会へ広告依頼をする事で、印刷費用を捻出し取材協力の中心は写真同好会と放送同好会が印象的で記者は自由に投稿が有り、編集会議を教授会と行い発行しておりました。学校法人の新聞会で、福岡女子大学と福岡大学、西南大学と交流会は盛ん

で、特に福岡女子大学とは、近く大学祭(立花祭)や創立記念日等は合同コンパや市民会館で研究発表や音楽祭を実施して九州のみならず東京事務局では大手企業商社に協力する等知名度は最高でした。小生は超音波工学に興味があり渡辺正巨研究室を継承し卒業と同時に卒論担当助教授を担当し超音波ボンダーを成功させ、桑原学長に喜ばれた事は意味深いものでした。自動車同好会は電気エンジンの開発を成功したと聞かされびっくりしました。これら母校の伝統文化は永遠だと確信しております。

④桑原玉市先生の理念は「人材育成」として世界のトップランナーで有り、社会に貢献する「人材の育成する理念は小生に取ってバイブルに相等しております。在学の7年間で特筆できる事は「岩尾君は電子カルテの特許だけは取得すべし」と理事長室で言われたのが「遺言」に成り、恩返する方法が実現できておりません。同時に「学園は卒業生の物で有るから卒業生の卒業生による卒業生のために成る母校として大切にして下さい。」は耳から離れた今日に至って大切に下さいます。地球環境の必然的現象が証明していると断言できません。医療崩壊は教育破壊へ転移しない様に地球は人類の人類の為に地球で有る事からも自然環境は人類が一丸と成って守る義務と権利が有ります。新日本誕生100年計の区切りとして地球が酸素欠乏に推移し続ける原因を明確にし全人類一丸と成って全力投球で粘り強く頑張り、卒業生を中心に建学の綱領にお答え致したく皆々様の御支援御鞭撻叱咤激励の程をお願い申し上げます。

⑤むすび：77才の高齢者として桑原玉市先生へ恩返しできる事は医療福祉文教を産学官民一体と成りコロナの原因を解明する目的で、桑原学園で学んだ集約体制で頑張る決意です。近況は医療機器と治療方法の安心安全の為に細胞活性化と免疫医学の研究に取り組んでおります。究極的には60兆個・細胞の血中酸素濃度と生態工学の科学的論証に苦慮しており皆々様の御支援を宜しくお願い申し上げます。未文ながら母校の発展と充実並びに卒業生、在学生、生徒、教職員の皆様の御健勝を心よりお祈り申し上げます。

以上

# 活躍するOB・OG

吉本工業株式会社 伊万里事業所 所長

大川内 正嗣

(昭和58年電子工学科卒)



福岡工業大学電子工学科を卒業して40年近くの月日が経とうとしています。この度会報「雄飛」の活躍するOBとして執筆依頼がありました。最初のときは冗談だろうと思っていました。原稿依頼書が来た時に初めて認識した次第です。学生当時、私はまったく授業には出席していませんでした。大学3年の時に教務課から呼ばれて確実に留年ですと通告されました。実験なども出席していませんでした。ですから当然です。その時は中退しようと思いましたが、クラスメイト達からもうちよつと頑張ってみたらと励まされ、なんとか踏ん張って最低ラインの単位を取得して卒業までたどり着きました。

大学を卒業し、現在まで多種多様な仕事をしてきました。ある時は電気設計者(プログラミングも含む)、ある時は中規模の商社の営業、総務、経理等

現在では名村造船所の下請業者(溶接・足場・塗装)の事業所所長をやっています。今思つのは専門業種のプロフェッショナルにはなれなかつた後悔もありますが何でもこなせるオールマイティということと仕事を選擇する時には、常にチャレンジしていこうと思うようになりました。理系の頭脳で文系の仕事をこなすことは難しい面もありますが文系頭脳では出来ない発想が出た時、喜びを感じた事を今でも鮮明に覚えています。自分の能力を最大限に發揮してこれからも邁進していきたいと思つています。

# あの先生は今

元知能機械工学科 准教授

松原 和宣



「雄飛会」の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は、思いがけなく同窓会誌「雄飛」への寄稿の機会を頂き有り難うございます。

工学部・元電子機械工学科に助手として採用されて以来、2015年(平成27年)3月退職まで39年間務めさせて頂き、退職後も1年間非常勤講師もさせて頂きました。

その後は、4年間市内の大学工学部、機械工学科および看護専門学校の非常勤講師を勤め、後者は現在も引き続き講義を担当しているところで、

研究活動の方はほとんど出来ておりませんが、米国電気電子学会(IEEE)の九州・中国地区プランチで企画される「磁気工学」関連の講演会にはたまにリモートで参加し、旧交を温めております。

2019年9月初旬、大学時代の登山好きの友人のサポートで念願の富士山登山に挑戦し、剣が峰から絶景を眺める夢を叶えることが出来ました。新型コロナ感染症が発生する前でもともラッキーでした。この挑戦に備えて行った下準備は、前年に富士山五合目から六合目までのトレッキングで脚慣らしを兼ねて現地視察、郷里大分県国東半島の「六郷満山開山1300年記念」の2日間登山ツアーに参加、同半島の最高峰で標高720.6[m]の西子山に高校生時代以来のひさしぶりの登山でした。

最後に成りました。福岡工業大学並びに雄飛会の益々のご発展を祈念申し上げます。

元電気工学科 助教授

高山 紘一

(昭和41年電子工学科卒)



早期退職後

とうとう80歳になった。緑内障になり白内障の手術に失敗して教卓のノートの字が見ずらくなつたので65歳で早期退職した。この先何をするか、妻と相談しヨットを買った。一人で乗れる大きさのヨットは30フィート(9m)程度が適当だと昔読んだ本に書いてあった。中古艇を探すとオカサキ30が目についた。岡崎造船所は小豆島にある古い造船所だ。6月下旬モーターボートに乗ったことがあるパラグライダーの友達と取りに行った。瀬戸内海は島が沢山どこを通れば?、GPSを頼りに小豆島、仁尾、北条、新門司、小戸と約500kmの行程だった。瀬戸内海と玄界灘を比べると玄界は荒々しい。小型ヨットの場合1日の行程は60km、朝早く出港して3時までに港に入り係留する。私の場合夜は走らないことにしている。昼はマリナーのヨットでお茶を飲み、

週に一度帆走で玄界島を回って帰る。一泊するならば筑前大島や小豆島さらに遠くは平戸、吉岐、対馬、野母、五島さらに日本海側は室津下、角島、仙崎、見島と遊んでいる。フィッシャリーナ室津下で係留した際に係りの人に昔ヨットをいっしょに作った卒業生をたずねると電話をしてくれた。30年ぶりの再会だ。川棚温泉まで送り迎えしてもらい夕食の差し入れまでしてくれた。近年高齢者の自動車事故が多発しているので妻や娘に免許を返納するように説得され、抵抗したが令和2年7月返納した。ヨットに行く回数が少なくなつた。腕力が落ちて帰港して係留する際周りの仲間を手伝ってもらう。コロナが無ければ五島や対馬に行く予定だった。小型船舶免許は後一、二年維持したいと思つている。

# 立花祭 実施報告

今年の立花祭は例年通りの規模ではなく、学内関係者のみで感染対策を徹底しハイブリット形式で実施をしました。昨年度は新型コロナウイルスの影響で開催を断念しましたが、このコロナ禍でなかなか活動を行えていない学生のために立花祭を実施することで、活動とその発表の場を作ることができると考え実施を決定しました。

感染対策を徹底しての実施は初めての試みで戸惑うことや、行き詰まることが多々ありましたが、役員一同助け合って意見を出し合い、学生課や管財課の方と何度も話し合いを重ね、無事に当日を迎えることができました。当日は大きな事故もなく、たくさんの人に楽しかったとお声をいただけで大変でしたが実施しよよかったなと心から思いました。役員たちも立花祭を自分たちでつくりあげることができた達成感を感じており、終わった後はみんな「お疲れ様!」、「楽しかったね!」と無事に終わったことを喜んでいました。

目玉企画であるプロジェクションマッピングも初の試みでしたが、関係者だけでなく、近隣住民の方にも楽しんでいただくことができ、日常に非日常を提供するという形で地域貢献ができたと思います。

この場をお借りしてですが、立花祭に関わってくださったたくさんの方にお礼申し上げます。これからも学生自治会は学生のために何ができるのか考え、活動してまいりたいと思っておりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

令和3年 11月4日  
学生自治会会長 井手綾乃

# FIT女子会

私たちはコロナ中で記憶に起こるイベントを開催しようと思ひ竹灯籠のプロジェクトを行いました。FIT女子会メンバーは9人と少なく、目標の500個の竹灯籠を完成させること、展示当日見に来てくれる人はいるのかなど多くの不安を抱えながら夏休み前から企画を進めてきました。竹は地域の助けをかり、何十本もの竹を調達することができました。また、学校が始まり、お手伝いをお願いしていた留学生やFITTER、メールやポスターを見た学生など多くの学生が竹灯籠作製に参加していただき、約1か月間という短い期間で約550個の竹灯籠を完成させることができました。そして、11月2、3日の立花祭に約550個の竹灯籠と短大生のプロジェクションマッピング、自治会の協力のおかげでアプローチに幻想的な空間を作り上げることができ、竹灯籠プロジェクトを成功させることができました。立花祭を見に来てくれた人たちは「きれい」「すこい」など声が聞こえ、学生、地域の人を笑顔にすることができたと感じています。今回はLEDライトを入れた竹灯籠を作製したが、次回は福岡工業大学で学んだことを活かした竹灯籠を展示していきたいです。

今までは、コロナ中でFIT女子会のメンバーの活動率やイベントの学生の参加率が低く、FIT女子会の認知度が低かったが、今回のプロジェクトを通して、FIT女子会メンバーの活動率、イベントの学生の参加率も上がり、FIT女子会を学校全体に広げることができたと思います。

FIT女子会会長  
電気工学科3年 大塚麻由



プロジェクションマッピング



短大ひろなか研究室で作成した映像

VRお化け屋敷

VRお化け屋敷体験

メインステージ



お化け屋敷 壁づくり



お化け屋敷準備



立花祭当日のお昼ご飯



お昼ご飯のおべんとう



なかよしオフショット



立花祭前の全体会議



アリーナステージイベント(企画部署)話し合い



アリーナステージイベントの練習



脱出ゲーム



外企画部署責任者



屋台部署の話し合い



立花祭当日の会議



買い出し



準備中



脱出ゲームメンバー



# 母校からのお知らせ

## 後期授業も「原則対面」でスタート 8割超の学生がワクチン接種の見通し

学生の学びの機会と教育の質  
学生のコミュニティを守ります

本学は学生たちの成長にとって、実際のキャンパスライフが重要であると考え、今年度「対面授業」を基本として学生の学びの機会と質を守る対策に全力で取り組んでいます。後期も授業を「原則対面」で行っています。9月27日までに2回のワクチン接種を行い、学生1500人超が学内での接種を終えました。これに加えて学生たちが自治体などでの接種を受けており、学内のアンケートでは、回答した学生のうち、あわせて8割以上がワクチン接種を終えた(1回、2回)「近いうち完了」これから行う」としています。

高いワクチン接種率と感染拡大防止策の徹底を背景に、本学では学生の学びの質とコミュニティを守り、学生の充実したキャンパスライフを実現します。



職域接種の様子



職域接種会場の様子

感染拡大防止を徹底  
キャンパスライフを可能に

学内での消毒の徹底や検温装置、換気ファンの導入、食堂や談話スペースへのアクリル間仕切り設置などのハード対策を細かく行っています。こうした対策に加え、ICT設備の拡充や経済的に困窮した学生の救済措置なども含め、約1億4千万円(20年度実績)のコロナ対策費を投入。リスクを最小限に減らす努力を継続しつつ、可能な限り学生たちがキャンパスに来て、友人と交流して自己研鑽を積む学びの機会を守っていく所存です。



検温システムを各所に設置



アクリル間仕切り

感染「拡大」リスクを最小限に  
着席追跡システムを導入

コロナの感染の「拡大」リスクを最小限に食い止める対策も行っていきます。感染拡大防止のための着席追跡システムを導入。学生たちが授業の開始前、各教室に掲示されているQRコードをスマートフォンで読み込み、専用のウェブページから机に貼られた番号を入力。番号を基に、感染者が出た場合には濃厚接触の可能性がある学生を把握し、保健所に伝えることを想定しています。リスクと共存しながら、感染の広がりを最小限に食い止める対策も行っていきます。



即座に接触者を特定できる着席追跡システム

## キャンパスアプローチ(福工大前駅通学路)が完工!

福岡工業大学 財務部 管財課

課長 松原 宏

師走の候 同窓会の皆様にかかれましては益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より本学への多大なご支援、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

平成31年から5ヶ年計画で「城東高校施設・設備整備計画」に着手しています。令和2年8月に城東高校1号館(職員室、ラーニングスペース)、令和2年12月に城東高校体育館、令和3年2月に横断歩道橋(城東高校1号館と城東高校体育館を繋ぐ上空連絡通路)が完工しています。

このたび、旧城東高校体育館取壊しに際し、そこがキャンパスのアプローチとして、また、学生・生徒・教職員・地域の方々の寛ぎのフィールドとして相応しい場所となるよう、通学路拡幅・バリアフリー化・植栽・芝生広場敷設等の造成を行いました。関係の皆様から「学園の活発さを感じさせる開放的な空間」等、高い評価をいただいています。

そして、この箇所に学園の表札として、モニュメントを設置しました。

モニュメントの意匠は、「建学の綱領」と、これに基づき「経営理念」をモチーフにしています。「経営理念(For all the students)」を表面の陶板に、裏面にその具現化の決意を刻み込んでいます。色調は、至高の精神性を有することを願って清らかな青色(シンボルカラー)を基調に、加えて、教養と科学技術の知見を培い、深化させることを願って重層的なグラデーションを施しています。また、「地域社会への貢献も学園の使命」との考え方で、福岡の博多織献上柄を配っています。形状は、学園での学び・研究を礎に世界に雄飛することを願って、扇形(すえひろ)としています。是非、一度お立ち寄りください。



モニュメント(正面)



モニュメント(背面)



全体(日中)



全体(夜間)

## 学び続けることで、もっと人生を豊かに

「母校の「エクステンションセンター」を活用してみませんか?

福岡工業大学エクステンションセンターは地域NO.1の生涯学習センターをめざし、在学生・卒業生はもとより地域の皆さまを対象とした「FITオープンカレッジ」を、春夏(4月〜9月)と秋冬(10月〜3月)の年2回開講しております。講座は、本学教員の日頃の教育・研究の知見を生かしてわかりやすく紹介する「FIT講座」や、ビジネス・資格・文化・教養・健康増進関連など、それぞれの人生のステージに合わせた講座を幅広く開講しています。(遠隔地でも受講できるオンライン講座もあります)

人生100年時代、変化の激しい時代において、卒業生の皆さまの一人おひとりが今いる場所で未来を見つめ、輝いていけるように、本センター主催の講座を活用し、新しい一歩を踏み出してみませんか?

### FIT オープンカレッジ 講座の種類

#### FIT 講座

本学教員の教育・研究を生かした先進的あるいは社会の関心が高いテーマに沿って、わかりやすく紹介します。

#### 1日 集中講座

ジャンルを問わず1日で学べる講座。1日の学びが視野を広げ、知識を深めるときっかけになるかもしれません。

#### 文化教養・健康増進 講座

様々なジャンルから興味のあることを半年間じっくりと学ぶことができます。生活のリズムも整います。

#### 資格取得支援講座

社会人のためのキャリアアップを応援する講座。情報系、語学系、ビジネス系の講座を用意しています。

詳細確認・お申し込みは以下のサイトからどうぞ。  
<https://opencollege.fit.ac.jp/>



FIT 福岡工業大学  
エクステンションセンター

学園の歴史探訪

～学園・温故知新 其の一～

かつて学園の未来を案じられた
第3代理事長伊藤慶次先生の
学園発展への情熱と考察の紹介
一般社団法人 雄飛会 福岡工業大学同窓会 事務局長
桑原 雅浩(昭和58年電気工学科卒)



以下抜粋記事
激動する社会は、百人百様の個性と、それぞ
れの個性が持つ特色、創造性の育成を教育に
求めています。応えるには先ず育成する側の、
個性が、特色が、創造性が、前提です。その場
合何れの私学もめざす方向は、建学の綱領へ
の帰帰だと思われま。

1 建学の綱領への帰帰
(1)すべてが私学として位置づけが起点
何時か、いずれの学校法人でも、建学の綱
領は無用の長物となり、忘れられました。
学園もまた、その例外ではありません。あ
る時期の学校案内には、建学の綱領はもち
ろん、私学としての「学校法人」の文字も見
代りの所産です。

現代風への翻訳も、アレンジも必要としな
い。そのまま学園のめざすものが、理念とし
て掲げられています。
私学淘汰の季節、1、2、3、6校(平成8年度
全国大学一覽)も大学(国公私立、短大、高
専を含む)がひしめくなか、地方の、中小規模
の大学がその存在を主張し、社会に応えるた
めには、三国立でも、有名私大への追従では

3 オンラインワンの追求
(1)小粒でも山椒
①東大、慶応でも、ラサールにもない
追従では追いつけない。ミニでは、本場に空
席がある時代。志願者はそちらに逃げま
す。となれば、東大、慶応にも、ラサールに
もない、学園だけの特色造りをめざす以外
に、21世紀に生き残る術はない。
小粒でも山椒だけじゃもつ味、香り。数多
ある大学、短大、高校のうち、1校だけが持
つ特色。「ラグビーの福工大」の時代があり
ました。ある先生はアメリカでの学会で「柔
らちゃん」の学校です。その一言で福工大を
理解してもらえたとか。
部活に夢よ今一度です。教育研究部門にも、
ぜひほしいオンラインワンです。

Table with 2 columns: 入試区分, 受験料. Lists exam types like '学校推薦型選抜' and '共通テスト併用型選抜' with their respective fees.

福岡工業大学同窓会(一般社団法人雄飛会)支部一覧
(令和3年12月現在)
全国に25のブロック・支部が結成され、世代を超えた会員相互の親睦を図る活動を行っています。

Table listing branches of the association across various regions like Hokkaido, Tohoku, Kanto, etc., with branch names and contact info.

福岡県筑後支部会員のみなさまへ
福岡県筑後支部総会・懇親会のご案内
日時: 令和4年5月15日(日)
会場: 久留米ホテルエスプリ
会費: 3千円

「建学の綱領」
一、生徒の品性を陶冶し真の国民としての教養を啓培する
二、宇宙の真理を探究しこれを実生活に應用して社会に貢献する
三、人類の至高の精神、自由平和親愛を基調として世界に雄飛する人材を育成する
「二不易なるもの追求
(1)教養の啓培
建学の綱領は「生徒の品性を陶冶し真の国民としての教養を啓培すること」を、冒頭に掲げています。教育基本法は、教育の目的として「教育は人格の完成を目指し」と明示しています。
人たるに相応しい品性、人格。これらは何れも、古今を通し、東西にもとらず常に人類がめざすもの、それでいて完成し、到達することのない、無限の価値です。何時か教育の場に、徳育、人間性が忘れられ、知識と技術の賦与がすべてになりました。
世界はいま、物質文化の急激な発展が地球の環境が忘れられ、知識と技術の賦与がすべてになり、物質文化の急激な発展が地球の崩壊につながることに気づきはじまりました。
物から人への帰帰が動きはじまりました。教育の周辺でも、いじめや暴力のない、いたわり思いやり、相手の痛みが理解できる人間の育成が期待されはじめています。
人が人として必要な教養の啓培です。
(2)啓培する側には「啓培」
「生徒の品性を陶冶する」ためには、「啓培」する側の人間性こそ求めらるべきです。人
間性を求めているの日常的な交流が欠かせないはず。
学園内にある人間関係の亀裂、体罰の名で行われる暴力。相次ぐ大学教員の事故死。ガン末期の教員を選挙に担ぎ込んだ事例。
眺に及が団交の内側で行われていた、人間否定の行為。それらは目的のために手段を選ばぬ、教育とは無縁の人間、あつてはならないことです。「めざす側の」人間性の回復こそ、学園の教育改革の、最初にして最大の命題だと思われま。

# 決算・予算報告

令和2年度決算 令和2年度収支計算書(R2.4.1~R3.3.31) 単位:円			
収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
会費	22,720,000	大会費	1,942,466
雑収入	17,382	理事会費	234,050
前年度預り金	△2,790	企画・広報費	4,048,289
当年度預り金	2,490	組織支援費	3,125,970
年度収入合計	22,737,082	学生支援費	9,000,000
前年度繰越金	94,624,887	FIT Museum事業費	3,727,635
		事務局費	4,802,234
		特別記念事業費	100,000
		予備費	50,000
		年度支出合計	27,030,644
		次年度繰越金	90,331,325
収入合計	117,361,969	支出合計	117,361,969

令和2年度貸借対照表(R3.3.31現在) 単位:円			
資産の部		繰越金の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金	210,576	預り金	2,490
普通預貯金	22,820,749	前期繰越正味財産	94,622,397
定期預貯金	67,300,000	任意積立金	86,524,235
		特別記念事業費積立金	8,098,162
		当期正味財産増減額	△4,293,562
合計	90,331,325	合計	90,331,325

期中増減額(R2.4.1~R3.3.31) 単位:円			
区 分	R2.4.1現在	期中の増減	R3.3.31現在
現金・普通預貯金	27,324,887	△4,293,562	23,031,325
定期預貯金	67,300,000	0	67,300,000
合計	94,624,887	△4,293,562	90,331,325

令和3年度予算 令和3年度収支予算(R3.4.1~R4.3.31) 単位:円			
収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
会費	20,560,000	大会費	0
雑収入	9,000	理事会費	370,000
R2年度預り金	△2,490	企画・広報費	972,000
R3年度預り金	2,490	組織支援費	2,490,000
年度収入合計	20,569,000	学生支援費	2,400,000
前年度繰越金	90,331,325	FIT Museum事業費	3,700,000
		事務局費	5,211,000
		特別記念事業費	0
		予備費	1,000,000
		年度支出合計	16,143,000
		次年度繰越金	94,757,325
収入合計	110,900,325	支出合計	110,900,325

## 令和3年度 代議員一覧 (令和3年6月~)

氏 名	卒年科	役 職	専 門 部	選 出 地 域
小柳 辰 生	70 電子	会 長		福 岡 支 部
米倉 和 實	70 電子	副 会 長	企画・広報部	福 岡 支 部
桑原 雅 浩	83 電気	事 務 局 長		福 岡 県
本行 義 洋	84 通信	事 務 局 次 長	組織支援部	福 岡 県
田中 睦 教	66 電子	理 事	組織支援部	福 岡 支 部
外山 吉 幸	71 通信	理 事	財務部兼 FITMUSEUM事業部	筑 後 支 部
楠本 總 幸	71 通信	理 事	学生支援部	福 岡 支 部
齋藤 文 親	67 電子	監 事		福 岡 県
松尾 正 博	69 電子	監 事		福 岡 県
滝石 義 礼	76 電気			関 東 ブ ロ ッ ク
石黒 佳 一 郎	72 通信			関 東 ブ ロ ッ ク
石田 裕 人	79 電子			東 海 ブ ロ ッ ク
大明 孝 雄	70 電子			関 西 ブ ロ ッ ク
川谷 伸 一	90 機械			関 西 ブ ロ ッ ク
藤本 正 宏	79 電子			中 国 ブ ロ ッ ク
岩岡 一 平	85 材料			四 国 ブ ロ ッ ク
小口 幸 一	71 電子			福 岡 支 部
萩田 寛 司	72 電子			福 岡 支 部
小柳 礼 二 郎	74 電子			北 九 州 支 部
出水 貴 之	00 情報			筑 豊 支 部
柴田 廣 樹	73 通信			長 崎 ・ 佐 賀 ・ 大 分
増水 紀 勝	67 電子			熊 本 ・ 宮 崎 ・ 鹿 児 島
又吉 盛 秀	75 電子			沖 縄 県 支 部
橘 豊 文	69 電子			福 岡 県
松尾 一 壽	71 電子			福 岡 県
小松 時 浩	86 管理		組織支援部	福 岡 県
藤野 和 美	92 電気		企画・広報部	福 岡 県
笹原 文 仁	07 通信		学生支援部	福 岡 県
矢羽 田 誠 一	69 短大			福 岡 県
倉 光 真 紀	92 短大			福 岡 県
百原 武 敏	67 電子	相 談 役		

## 訃 報

### 宮城 洋一様 (1975年通信卒)

長年にわたり、同窓会代議員及び沖縄県支部長を務めて戴きました宮城洋一様が令和3年9月に逝去されました。謹んで哀悼の意を表すと共に心からご冥福をお祈り申し上げます。

## 事務局より

### 1. 募金・名簿などの勧誘について

民間の広告会社より「大学・同窓会の新聞広告を掲載したいので寄付して欲しい」という趣旨の電話による勧誘が行われることがあり、その金額も2万円前後と高額の様です。また、民間の出版社より「福岡工業大学総合名鑑を発行するので、あなたの情報を提供して欲しい」という勧誘も行われているようです。同窓会では寄付や名簿に関する活動などについては、理事会および社員総会の決議を経て責任の所在を明確にして必ず文書でお願いしています。従って、右記のような勧誘に対しては、同窓会本部では何ら関知しておりませんので、ご注意ください。

### 2. 異動の連絡をお願いします。

交流会案内などが皆様の手元に確実に届くために、正しい住所の把握が必要です。皆様の住所・電話番号・勤務先の変更や改姓などにより異動が生じたときは、同窓会にもご連絡くださると幸いです。異動のご連絡は、同窓会ホームページ(<http://www.fit.ac.jp/dousoukai/>)の「住所変更のページ」から行うことが出来ますが、電子メール・FAX・葉書でも受け付けております。

### 3. 会報「雄飛」への情報提供をお願いします。

同窓会事務局では、皆様からの情報をお待ちしております。会員の近況・就職支援情報、会報「雄飛」に関する感想、その他ご質問・ご要望などなんでも結構ですので、どしどしお寄せください。

### 4. 定款の変更について

一般社団法人雄飛会定款を変更しました。改定後の定款につきましては、雄飛会ホームページに掲載しております。

### 【連絡先】

一般社団法人 雄飛会(福岡工業大学同窓会事務局)  
〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1  
TEL 092-6008-1598(直通)  
FAX 092-6008-1598  
e-mail dousoukai@fit.ac.jp

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症拡大防止の中、皆様のご協力により、本年度も会報を発行することが出来ました。今年度から会報誌「雄飛」は紙面発行に加え、同窓会ホームページでの掲載のみとなりました。これからも試行錯誤を重ねながら「雄飛」およびホームページの充実を計って参ります。